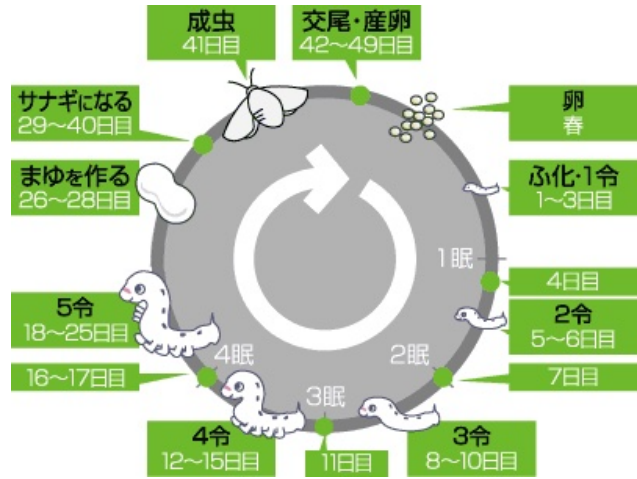


カイコいっしょうの一生

じょうずにカイコをかうと ふ化かしてからクワを食たべつづけて 右の図のようにカイコは育そだち、26日くらいでマユを作ります。頭あたまにくらべて体がとても大きくなると「脱皮だっぴ」して頭あたまが大きくなります。カイコは4回「脱皮だっぴ」します。「脱皮だっぴ」の前には1日くらいクワを食たべず歩あかなくなつて じゅんびをします。「眠みん」とよびます。



用意よういするもの

- ・飼育容器しよくようき：とうめいなプラスチックの飼育ケースだと カイコを観察しやすい。
- ・クッキングシート：てきとうな大きさにきつて飼育ケースの底そこにしく。
- ・クワの葉は：カイコのえさ。校庭こうていや大田川遊歩道おのうほどうなどのクワの木からあつめる。
- ・ビニール袋ぶくろ：クワの葉をいれて冷蔵庫の野菜室やさいしつに保管する。

高原社ウェブサイトより

カイコには 新鮮しんせんなクワの葉はをたやさない

カイコは食べのこしのクワを食たべません。新鮮しんせんなクワがいつでもカイコの近くにあるようにしてください。新しいクワをカイコの上うへにのせると、カイコはそれまで食たべていたクワを はなれて、新しいクワの上うへにのぼります。一日2回以上クワを足いじようし入たれます。5令れいになってたくさん食たべる時は、クワがなくならないよう入れいれてください。

病気びようきのもとになるカビなどをふせぐため そうじをする

飼育ケースの中なかにカビた葉はがのこっていると、カイコは病気びようきになります。新しいクワを入れてカイコが乗りううつたら、その葉はごとケースの外うしろに移動させ、古い葉やフンをそうじしてから カイコをもどします。カイコの数かずを数かぞえて確認かくにんします。カイコが大きくなったら、ゆびでそとついどうまんで移動させます。古い葉ははしばらくわきにおいて 上うへにのぼってくるカイコがいいいか確たしかめてから すてます。

熟じゆくさん蚕さんをマブシまぶしにうつす

マユを作りはじめる時は、新しいクワを入れても食たべなくなり 体がすこし黄色きいろっぽくなります。このカイコを「熟蚕じゆくさん」とよびます。「熟蚕じゆくさん」は マユをつくるための足場あつでになる角かどや囲かこいの場所をさがしてかべをのぼります。厚手あつての紙かみをマユの大きさにジグザグに折あってマユ作りの足場あつでになるようにします。「マブシ」といいます。トイレトペーパーの芯しんも「マブシ」になります。

たくさんのフンふんと尿にようをするので、ケースがびしょびしょにならないようキッチンペーパーをおりたあつたんで厚あつめにしくか ふき取るとかします。

マユしゆくかくを収穫とする

マユができあがるまで3日かかります。それから3~4日たつとマユの中なかで脱皮だっぴしてサナギになります。その12日後うかくらいで羽化がして蛾がになってマユから出てきます。マユにあなをあけてサナギをきずつけないよう出がしておいても 蛾がになります。